

元気のもと太陽から

清水 富雄 さん  
78歳 (木津区)

何より味噌汁が苦手で、朝食も漬け物で食べていたとか。「それが今では味噌汁がないとだめなんですよ。歳のせいですかね」晩酌は毎日焼酎を一合ほど。飲むと8時にはそのままこたつで寝てしまう。

「元気な秘けつは、内にこもらず太陽の下で働いてきたこと。それと暴飲暴食をしないことです。若い頃ならまだしも、歳をとったら無理がききませんからね」

旅行が好きだが、牛の世話があるので家をあけられず、ここ数年老人会の旅行にも行ってない。ただ歳のせい、この頃は朝早く起きるのがたいぎになり、牛にえさをやるのが遅くなることもあるそうで、「牛は大迷惑ですよ」と笑う。「でも、もう1、2年は頑張りたいですね」

わくわく  
ひろば

市民の皆さんのページです  
あなたの情報で、ひろばは  
さらにイキイキ ☎ 231117



中村 昭治さん  
(幸町区)

エンジン  
仲間達

③1

生涯 退屈知らず

〜尺八逸元会〜

ポチポチやっているうちに10年になりました。詩吟や民謡の伴奏に、ポチポチお手伝いさせてもらっています。

第1・3週の土曜日、午後7時30分から9時30分まで、仙崎公民館で練習しています。時には練習日や会場変更もあります。少人数なので連絡も容易、



気楽にやっています。とりつきにくいので愛好者も少ないのですが、それだけにやりがいがあります。演奏会で緊張すると音が出なくなり、恥ずかしい思いもしますが、反省会の酒でいやな思いは洗い流し、心機一転、やり直しの繰り返しです。尺八の練習で、生涯退屈知らずの人生を！と念願しています。

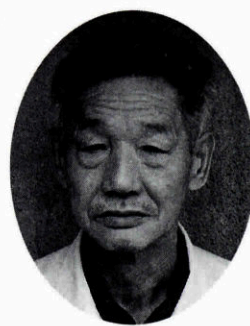
②4

ちよっと小耳にはさんだ

季節にあつて咲く花は

「あつ！」と息をのみます

大岡 潔 さん  
(鳥越1区)



チャンスであり、心が躍る一瞬です。開花時を知れば、冬季も以外と花が咲くことが分かりますよ」

旅に出るまでもなく自宅の周囲には、季節を写す色とりどりの花が咲いてくれると言う。

「生きがいの真ん中にある実感とでも言いましょうか。気持的には真剣勝負と思っています。現像して1枚でも納得できる作品を見つけたときは、ジワッと喜びが湧いてきます。花は私の永遠のテーマだと思っています」  
毎月1日号の最終ページ『花一輪』に、大岡さんの作品を12回掲載予定です。

4年前から四季の花を撮り始めた大岡さんは、その動機を静かに話します。  
「季節にあつて咲いた花は、思わず息をのむほど感動的な姿です。その花とゆっくり付き合えば心も洗われ、そのうちに望む被写体へと花が姿を変えていきます。そのときがシャッター」

